

バージョン 9.1 の IBM Rational Integrated Development Environment オファリングでは、重要な新機能が導入されています

目次

2	製品の概要	14	製品資料
3	主要前提条件	14	技術情報
3	出荷開始予定日	15	発注情報
3	製品の機能詳細	25	契約条件
10	開発意向表明	28	料金
12	プログラム番号	29	AP ディストリビューション

ハイライト

バージョン 9.1 リリースの Rational® Application Developer for WebSphere® Software、Rational Developer for System z®、Rational Business Developer、および Rational Developer for the Enterprise は、重要な新機能を提供します。製品の特長は以下のとおりです。

- ・ Rational Application Developer for WebSphere Software: ハイブリッド・モバイル・アプリケーションを開発するための Apache Cordova ツールを統合。
- ・ Rational Application Developer for WebSphere Software: ワークベンチの起動時間が向上。
- ・ Rational Developer for System z : Integrated Debugger は、PL/1、C/C++、IMS™ TM、および DB2® ストアード・プロシージャをサポートするようになりました。コード・カバレッジ機能では Integrated Debugger テクノロジーを使用するようになったため、この機能を活用するための追加の前提条件ソフトウェアが不要になりました。
- ・ Rational Developer for System z : PL/1 用に実装されたフロー・ダイアグラムを制御。
- ・ Rational Developer for System z : zUnit 単体テストフレームワークが拡張され、COBOL のテスト・ケースやテスト・データの作成をより完全に自動化するための機能を備えるようになりました。
- ・ Rational Developer for System z : Enterprise Service Tools (EST) における JSON の新規サポート。モバイル・アプリケーションが既存の CICS® サービスを容易に使用できるようになります。
- ・ Rational Developer for System z : リモート・プロジェクトの効果的なサポートなどの、Rational Team Concert™ との統合の向上
- ・ Rational Business Developer: EGL Web および REST をベースとしたアプリケーションを CICS Translation Server V5.1 の Liberty Profile に実装する機能
- ・ Rational Business Developer: 新たな EGL 言語注釈
- ・ Rational Business Developer: 追加の Dojo ウィジェット機能
- ・ Rational Business Developer: 新たな拡張ポイントおよび API

バージョン 9.1 の IBM® Rational Integrated Development Environment オファリングの、その他の重要な製品情報は、以下のとおりです。

1. Rational 統合開発環境において、許可ユーザーのアクティベーション・キットを実行する方法が変更されています。詳しくは、以下をご覧ください。
<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27041656>
2. これらの製品の一部には、利便性を目的として、サード・パーティー製のオープン・ソース・ソフトウェア・コンポーネントが現状のままの状態に含まれている場合があります。詳細については、[製品の機能詳細](#) セクションを参照してください。
3. Rational Developer for i、Rational Developer for AIX® および Linux™ などの Rational IDE ポートフォリオにおける他のバージョン 9.1 のオファリングについては、

対応するソフトウェア発表レター JP14-0234 (2014 年 4 月 28 日付) を参照してください。これらのオフアリングは、多品種バンドルである Rational Developer for the Enterprise オフアリングの一部として含まれています。

製品の概要

IBM Rational の IDE (統合開発環境) オフアリングは、DevOps (開発と運用) 手法の下で、ソフトウェアの設計、作成、展開、初期の品質保証、および保守のアクティビティを最適化できるように設計されています。お客様が以下のような DevOps の目標を達成できるように支援することを目的としています。

- ・ スピード: より速く、より多くのものを提供する。
- ・ ビジネス・アジリティ: 急激に変化するビジネスの状況や要件により素早く対応できるように開発者のスキルのポータビリティを向上させ、従来の Systems of Record を素早く刷新し、さまざまなバックエンド・システムを活用するマルチチャネル (モバイル) アプリケーションを開発するためのツールを開発者に提供する。
- ・ 効率: 無駄を排除する (特に、ソフトウェアの欠陥や非効率なコラボレーションによって生じる無駄)。

IDE は、以下のハイレベルな機能を提供します。

- ・ (スピード、アジリティ) お客様がより素早く意思決定を行い、学習曲線を短縮できるように支援するアプリケーション理解と影響分析のためのツール
- ・ (スピード) お客様がより素早く意思決定を行えるように支援するインテリジェント・エディター、概要ビュー、コンテンツ・アシスト、自動完了、即時の構文確認、コンテキスト・ヘルプなどの機能
- ・ (ビジネス・アジリティ) さまざまなバックエンド・システムを活用するマルチティア、マルチチャネル (モバイル) エンタープライズ・アプリケーションを開発するためのツール
- ・ (ビジネス・アジリティ) COBOL、RPG、PL/1、EJB などのアプリケーションの保守、拡張、および刷新を行うためのさまざまなツールや手法
- ・ (ビジネス・アジリティ) さまざまな言語、プログラミング・モデル、およびプラットフォーム間で共通の開発者ユーザー・エクスペリエンス
- ・ (効率) お客様が障害の発生を最小限に抑え、発生した障害を素早く特定し、障害を効率的に修復できるように支援する、コード生成ウィザード、静的コード分析、コード対象分析、プロファイル作成、単体テスト自動化、クロス言語/クロスプラットフォームのデバッガー、チーム・デバッグ機能などの初期コード品質ツール
- ・ (効率) 対象となる特定のプラットフォームやミドルウェアに合わせてアプリケーションを最適化することで、お客様がインフラストラクチャーをより効率的に活用し、投資収益率を最大化できるように支援する機能
- ・ (効率) 開発者にコラボレーション・ツールを提供し、計画や要件から、変更と構成の管理、ダウンストリームのテストと導入、顧客フィードバックに至るまで、ライフサイクル全体のさまざまなアクティビティや状況を開発者が把握できるようにする、より広範な IBM DevOps ソリューションとの統合

この発表レターでは、以下の IDE オフアリングについて説明しています。

- ・ Rational Application Developer for WebSphere Software
- ・ Rational Developer for System z
- ・ Rational Business Developer
- ・ Rational Developer for the Enterprise

主要前提条件

詳しくは、『 [前提ハードウェア](#) 』および『 [前提ソフトウェア](#) 』のセクションを参照してください

出荷開始予定日

- ・ 2014 年 5 月 23 日: ダウンロードによる出荷開始
- ・ 2014 年 6 月 6 日: 物理メディアによる出荷開始

各国語の出荷予定については、 [各国語の出荷予定](#) セクションを参照してください。

製品の機能詳細

バージョン 9.1 の IBM Rational Integrated Development Environment オファリングの、その他の重要な製品情報は、以下のとおりです。

1. Rational 統合開発環境において、許可ユーザーのアクティベーション・キットを実行する方法が変更されています。詳しくは、以下をご覧ください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27041656>

2. これらの一部の製品には、通常、製品の所有者が製品と組み合わせて使用するサード・パーティー製のオープン・ソース・ソフトウェア・コンポーネントが部品表（インストール可能イメージ）の一部として含まれている場合があります。これは、純粋にお客様の利便性を目的としています。これらのコンポーネントは現存のままの状態を提供され、IBM はこれらのコンポーネントの技術サポートを提供する責任を一切負いません。これらのコンポーネントの技術サポートを提供する責任は、それらを作成するオープン・ソース・ソフトウェア・コミュニティが負います。お客様は、それらのコミュニティに直接技術サポートを依頼する責任を負います。また、これらのサード・パーティー・コンポーネントは、ソフトウェアのユーザー補助や国際化対応について、IBM 独自の内部規格に準拠していない場合があります（例：これらのコンポーネントが英語のみで提供される場合がある）。このようなサード・パーティー・コンポーネントとの特定の統合点を実装する社内作成ソフトウェア、またはこのようなサード・パーティー・コンポーネントをインストールするためのサポートを提供するソフトウェアを IBM が提供する場合、IBM は、統合ソフトウェアまたはインストール・ソフトウェア（またはその両方）の技術サポートを提供する責任を負います。現時点では、本発表レターの対象となる製品において、以下のサード・パーティー・コンポーネントが製品の部品表に現存のままの状態に含まれています。

- (Eclipse) eGit
- (Apache) Cordova

Rational Application Developer for WebSphere Software

Rational Application Developer for WebSphere Software の中核機能

Rational Application Developer は受賞歴のある開発環境で、広範なアプリケーション・サーバー、データベース、およびその他のミドルウェアで使用可能ですが、WebSphere Application Server と Liberty Profile (Web アプリケーションおよび OSGi アプリケーション用に単純化された軽量ランタイム)、WebSphere Portal Server、および IBM PureApplication® System 向けに最適化されています。Java™ EE、SOA、OSGi、クラウド、Web 2.0、モバイル Web、ハイブリッド・モバイル、ポータル、SCA、SIP、および最新パッチ・アプリケーションの開発のための環境を提供します。コード作成ツールを提供するのに加え、組み込みテスト・サーバーを使用した単体テストをサポートし、さらに、高品質なアプリケーションの提供を確保するための問題判別ツールや分析ツールを備えています。

Rational Application Developer for WebSphere Software V9.0 で提供され、V9.1 で引き続き提供される主要機能は以下のとおりです。

- ・ JEE6 サポート (EJB 3.1、JPA 2.0、JSF 2.0、Servlet 3.0)。

- ・ AJAX、JavaScript™、Dojo、HTML5、CSS3、および REST サービスをサポートする、Web 2.0 およびモバイル Web スタイルのリッチ・インターネット・アプリケーションの開発の簡素化。
- ・ ネイティブ・モバイル、モバイル Web、およびハイブリッド・モバイルのアプリケーションを開発するための完全な IBM Worklight® Developer Edition (製品アプリケーションを稼働させるには、Worklight サーバーを別途購入する必要があります)。
- ・ OSGI アプリケーションを開発するためのツール。
- ・ 最新 Java バッチ・アプリケーションを開発するためのツール。
- ・ Service Component Architecture (OASIS SCA 1.1) を使用して SOA ソリューションを開発するためのダイアグラム・ツール。
- ・ サービス・マッピング・ツール。
- ・ IBM Workload Deployer でサポートされるシステム・パターンやアプリケーション・パターンを処理するためのツール。
- ・ 組み込みの WebSphere Application Server (Liberty プロファイルを含む) および WebSphere Portal Server テスト環境。
- ・ Liberty サーバーを対象とした、コア・セキュリティを備えた JAX-WS Web サービスを開発するためのツール。
- ・ ユーザー定義の Liberty 機能を対象とし、インストールするためのツール。
- ・ SAP、PeopleSoft、Siebel、Oracle E-Business Suite、JD Edwards、CICS、および IMS 用 WebSphere アダプターのサポート。
- ・ コーディング・ガイドラインおよびベスト・プラクティスに関する 200 を超える事前定義ルール、「クイック・フィックス」候補、およびカスタム・ルールの追加をサポートする拡張可能なフレームワークを備えたコード・レビュー (静的分析)。
- ・ 行レベル・コード・カバレッジ分析: プログラム実行中に実行されたコード・パスの詳細情報を提供し、適切なテスト適応範囲の確保を支援します。Rational Team Concert との統合により、結果を共有および利用してコード・デリバリーを制御できます。
- ・ Rational Team Concert ビルド・システムとの統合: ビルド照合テストでコード・カバレッジを自動化できます。
- ・ ランタイム分析ツール: メモリー・リーク検出、スレッド・ロック検出、ユーザー定義プロンプト、およびパフォーマンス分析が含まれます。
- ・ (Rational Team Concert との統合に基づく) コラボレーション・デバッグ: チームのメンバー間でライブ・デバッグ・セッションの共有が可能になります。

Rational Application Developer for WebSphere Software の V9.1 での新機能

- ・ WebSphere Application Server の最新の更新と Liberty Profile バージョン 8.5.5.x のサポート。
- ・ IBM Worklight ランタイム環境に依存しないハイブリッド・モバイル・アプリケーションを開発するための Apache Cordova ツールの統合。Rational Application Developer の豊富な Web 開発機能を利用し、IDE 内部から Apache Cordova ツールに容易にアクセスできます。これにより、Cordova モバイル開発フレームワークの使用が補完され、簡素化されます。
- ・ 新しいインポート/エクスポート機能を使用して、セッション間だけでなく、ワークベンチとコマンド行インターフェースの間でコード・カバレッジ統計を共有する機能。この機能は、チーム・ベースでのコード品質の取り組みや管理を容易にし、促進するように設計されています。
- ・ Web アプリケーション・ブリッジを使用して、Web ベースのコンテンツ提供プログラムと WebSphere Portal との間でコンテンツ管理を行う、新しいツールと簡素化された手法。自動コード生成およびデプロイメントのための、事前定義された、カスタマイズ可能なフィルターを提供します。
- ・ Java Server Faces Portlet 開発ツールでの Context and Dependency Injection (CDI) の利用。
- ・ ワークベンチの起動時間の向上。
- ・ サポート対象デスクトップ・オペレーティング・システムの更新 (Eclipse フィックス・レベルおよび JDK フィックス・レベル)。

Rational Application Developer for WebSphere Software の非推奨機能

以下の機能は非推奨機能として指定され、将来のリリースで製品から除去される可能性があります。これらの機能が将来除去されることによって悪影響を受けると考えられるお客様は、

Rational クライアント・サポートにご連絡ください。それらのフィードバックが、将来の製品計画に考慮されることがあります。

- ・ Rational Unified Process (RUP) Process Advisor および Process Browser
- ・ Rational RequisitePro® Integration
- ・ Rational ClearCase® SCM Adapter
- ・ Java Visual Editor
- ・ EJB 1.x および 2.x のツール・サポート
- ・ JSF Widget Library のツール・サポート
- ・ サイト設計ポートレット

Rational Application Developer for WebSphere Software から除去された機能

以下の機能は既に非推奨機能として指定されており、V9.1 の時点で製品から除去されました。

- ・ Rational Cloud Toolkit (既に営業活動を終了し、SoftLayer に置き換えられた SmarterCloud Enterprise 用)

Rational Developer for System z

Rational Developer for System z は、z/OS® アプリケーションを作成および保守するための中核機能を提供します。開発者のデスクトップで稼働し、最適化 IBM コンパイラーと統合されるとともに、z/OS 上で稼働するサーバー・サイドのエクスプローラー・サービスやデバッガー・サービスと統合されます。また、System z 環境に接続されていない間も、多くの開発アクティビティーをサポートできます。業界標準を使用して、以下の開発と保守を簡素化します。

- ・ リッチ・クライアント・インターフェースおよび Web アプリケーション
- ・ 従来の端末インターフェース
- ・ Web サービス
- ・ COBOL、PL/1、High-Level Assembler、C/C++、Java、JCL、および REXX で開発され、CICS、IMS、DB2、Batch、および z/OS にデプロイ可能なバックエンド・ビジネス・ロジック
- ・ 統合されたサービス指向アーキテクチャ (SOA) ベースの複合アプリケーション

Rational Developer for System z は、問題判別、プロジェクト管理、テスト・ソリューション、および System z 構成管理システムなど、既存の System z 開発プロセスおよびツールと統合されます。

IBM Integrated System z Development and Test (ISDz) ソリューションの一部として、Rational Developer for z を (IBM System z Personal Development Tool を基盤とした) Rational Development and Test Environment for System z と結合できます。Development and Test の環境は、メインフレームのオペレーティング・システム、ミドルウェア、およびソフトウェアを変更せずに x86 プラットフォーム上で実行できる仮想 System z アーキテクチャ環境を使用できるように設計されています。これには、System z メインフレームのハードウェアは必要ありません。

Rational Developer for System z V9.0 で提供され、V9.1 で引き続き提供される主要機能は以下のとおりです。

アプリケーション構造分析ツール、およびその他の理解ツール

- ・ COBOL プログラムの制御フロー・ダイアグラム: 基本ソースへのリンクやズームイン・ズームアウト機能を含む、プログラム・フローのグラフィカル表現です。
- ・ データ・エレメント表: 編集時の特定の COBOL プログラムや PL/1 プログラムのすべてのデータ・エレメントと、その従属コピーブックまたはインクルード・ファイルが表示されます。
- ・ PL/1 の呼び出し階層: PL/1 プロシージャの呼び出し元と呼び出し先の関係を階層ツリー・ビューで表示します。
- ・ COBOL および PL/1 ソース内からオープン呼び出しされるプログラム。

初期コード品質の確保および品質リスク管理のためのツール

- ・ z/OS Automated Unit Testing Framework (zUnit): Enterprise COBOL および PL/1 アプリケーション用のコード駆動型の単体テスト・フレームワーク。Enterprise COBOL や PL/1 の単体テスト・ケースの実行および検証を自動化します。
- ・ 潜在的な到達不能コードを特定し、強調表示する「プログラム・スコープ静的分析」。
- ・ ルールおよびベスト・プラクティスへの準拠性についてコードを検査する汎用静的分析。COBOL および PL/1 アプリケーション用の事前定義されたルールやテンプレート、および独自のカスタム・ルールの作成をサポートするフレームワークが含まれています。コード・レビューの結果は、Software Analyzer の結果ビューで対話式に表示するか、HTML、PDF、CSV、または XML の形式でレポートを生成して表示することができます。
- ・ 統合インタラクティブ・デバッガー: System z のリソースをほとんど使用せず、複数の言語で実装された、または複数のプラットフォームにデプロイされた複雑なソリューション全体でのステップ・デバッグが可能なアーキテクチャーで構築されています。
- ・ ヘッドレス静的コード・レビュー: 静的分析を GUI なし（「ヘッドレス」）モードで実行できるため、分析を自動ビルド・プロセスや自動テスト・プロセスに統合できます。
- ・ 行レベルのコード・カバレッジ: アプリケーションのテスト適応範囲を測定し、報告するためのツールの提供。テストされたソース・コード行とまだテストされていない行が示されます。
- ・ ヘッドレス LL コード・カバレッジ: カバレッジ分析を GUI なし（「ヘッドレス」）モードで実行できるため、分析を自動ビルド・プロセスや自動テスト・プロセスに統合できます。

コードの作成および編集機能:

- ・ アウトライン高速ナビゲーション・ビュー
- ・ コンテンツ・アシストおよびリアルタイム構文検査
- ・ スマート・インデントおよびハイライト
- ・ エージェントのリファクタリング（名前変更など）
- ・ コンテキスト吹き出し情報（COPY および INCLUDE ステートメントのクイック・リファレンスなど）
- ・ COBOL コピーブックや PL/1 インクルード・ファイルに対するハイパーリンク・サポート
- ・ COBOL および PL/1 エディターでのシーケンス番号サポート
- ・ 最新 JCL エディター、JCL テンプレート・サポート。JCL エディット・セッションから JCL プロシージャを開く機能
- ・ リモート・ファイルを処理中のコピーブックのリフレッシュ・アクション

チーム・コラボレーションおよびリポジトリ・サポート:

業界の主要なソース・コード管理ツールやコラボレーティブ・ライフサイクル・マネジメント・ツールにアクセスし、やりとりするためのツール

- ・ Rational Team Concert。
- ・ CA Endeavor Software Change Manager: CA Endeavor Software Change Manager 管理ソース・コードにアクセスし、処理します。リポジトリから直接ファイルを編集する機能である Endeavor Element Search アクションが含まれます。
- ・ SCLM Developer Toolkit: Software Configuration and Library Manager (SCLM) が管理するソース・コードにアクセスし、処理します。
- ・ Rational ClearCase SCM Adapter: ClearCase VOB およびビュー・サーバーもインストールされている場合、スナップショット・ビューや動的ビューを使用して、ClearCase バージョン付きオブジェクト・ベース (VOB) でソフトウェア成果物のバージョン管理を行うことができます。

CICS 用に最適化されたツール・サポート:

- ・ CICS 用の Enterprise Service Tool (サービス・コンポーネント・アーキテクチャーを含む): 最新のアプリケーション・アーキテクチャー、および既存の CICS アプリケーション・プロセスの変換と再利用をサポートする、統合されたツール・セットの提供。これらのツールは、Web サービス記述の生成、および CICS TS や CICS Service Flow Runtime を含めて、直接 z/OS システムに対して成果物を処理するサービス・フローをサポートします。

- ・ BMS Screen Designer: 基本マッピング・サポート (BMS) マップ・セットを視覚的に作成および変更することができます。端末ベースのツール (SDF II など) や、GUI ベースのツール (VA COBOL に組み込まれた BMS エディターなど) に習熟した CICS 開発者向けに設計されています。
- ・ CICS コード生成プログラム: UML モデルまたはユーザー提供の入力データから CICS Transaction Server アプリケーション・コードのスケルトンとロジックを迅速に作成できる設計ツールやウィザードの提供。例えば、UML モデルまたはデータベース・スキーマ定義を使用して DB2 表に対する作成、読み取り、更新、および削除インターフェースを提供する CICS トランザクションを生成できます。

注: 統合された CICS Explorer® の組み込みにより、IBM は、Rational Developer for System z 統合開発環境製品のバージョン 8.5 から、Application Deployment Manager (ADM) 機能を非推奨にしました。CICS Explorer を使用すると、必要とされる CICS リソース、サービス、および SCA バンドルの照会、定義、およびインストールを行うことができます。CICS Explorer と IBM Rational Developer for System z を組み合わせることで、サービス・デプロイメントやテスト・サイクルでの手作業による手順の一部をなくすまたは自動化することにより、CICS 開発プロセスが簡素化されます。推奨されない ADM 機能は、障害の修正および質問のサポートのために引き続きサポートされますが、新しい機能拡張、フィーチャー更新、追加のプラットフォーム・サポートは計画されません。ADM 機能は将来、Rational Developer for System z 製品から除去されます。

IMS ツール: IMS Transaction Manager and Database (DB) を扱う開発者用のツール。

- ・ IMS 用のエンタープライズ・サービス・ツール: 最新のアプリケーション・アーキテクチャをサポートし、既存の IMS アプリケーション・プロセスの変換と再利用をサポートする統合されたツール・セット。これには、IMS 同期コールアウトのための COBOL トップダウンのサポートが含まれます。これらのツールは、Web サービス記述の生成や、z/OS システムに対する成果物の直接処理をサポートします。IMS Enterprise Suite 2.2 SOAP Gateway や IMS info 2.0 アプリケーションが含まれます。Enterprise Service Tools は、SOA への移行を迅速に可能にします。
- ・ MFS Screen Designer: メッセージ形式サービス (MFS) メッセージの作成および変更と、ファイルのフォーマット設定を可能にします。多くの情報管理システム (IMS) プログラムは、端末装置との間で送受信するメッセージをフォーマット設定する IMS Transaction Manager 環境機能の 1 つである、MFS に基づいています。
- ・ IMS コード生成プログラム: 共通のプログラミング・オブジェクトを IMS アプリケーション・コードに迅速に追加できるようにするコード・スニペットを提供します。

DB2 ツール: DB2 データベース、ストアド・プロシージャ、およびアプリケーションを扱う開発者を特に対象としたツール。

- ・ データ・ツール: 表、表ビュー、およびフィルターを処理するためのツール。データベース表のリバース・エンジニアリング、または DDL スクリプトの使用により、物理データベース・モデルを作成できます。また、SQL ステートメント、DB2 ルーチン (ストアド・プロシージャおよびユーザー定義関数など)、および複数のタイプのファイル (SQLJ、SQL DDL、XML ファイルなど) を作成することもできます。
- ・ System z ストアド・プロシージャ: COBOL、PL/1、Java、または SQL で書かれた DB2 ストアド・プロシージャを作成してテストし、z/OS システムに直接デプロイできます。

拡張性機能: カスタム設計ツールを使用して、独自のアーキテクチャー、標準、およびプラクティスに合わせて開発環境を適用し、拡張します。

- ・ リソース・アクセス API: リモート・リソースへのアクセスや操作をプログラムで行うことにより、Rational Developer for System z の機能を拡張します。
- ・ Common Access Repository Manager (CARMA): System z ベースのソース制御管理ツールにアクセスするための、統合インターフェースおよび一連のサービスを提供します。また、CARMA は、カスタム・ソース制御管理システムにアクセスし、インターフェース接続するためのフレームワークとして使用できる、汎用グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) クライアントも提供します。
- ・ COBOL アプリケーション・モデル API: ソース・コードの COBOL 言語エレメントへのアクセスを提供し、カスタム静的分析ルールの作成をサポートします。

その他の機能:

- ・ QSAM ファイル用のデータ・エディター。

- ・ ローカル・プロジェクト用のリモート SYSLIB (データ・セット連結) の使用のサポート。
- ・ コード生成: UML モデルまたはユーザー提供の入力データから System z アプリケーションのスケルトンやロジックを迅速に作成する設計ツールおよびウィザード。
- ・ z/OS での拡張アドレス・ボリューム (EAV) のサポート。
- ・ 複数の JCL ファイルを選択して一括送信する機能。

Rational Developer for System z のバージョン 9.1 での新機能

- ・ 統合デバッガーが、以下の言語およびサブシステムをサポートするように拡張されました。すぐに使用可能な編集/コンパイル/デバッグのフル機能を提供します。
 - 追加言語: PL/1、 C/C++。
 - 追加サブシステム: IMS TM、 DB2 ストアード・プロシージャ
- ・ コード・カバレッジ機能: 統合デバッガーのテクノロジーが使用されるようになり、この機能を利用する場合に、追加の前提ソフトウェアが不要となりました。
- ・ 制御フロー・ダイアグラム: 基本ソースへのリンク、ズームイン・ズームアウト機能、ビットマップへのダイアグラムの出力/エクスポートを含む、PL/1 の新規サポート。
- ・ 静的コード分析およびカスタム・ルール開発: 事前定義されたルールや分析フレームワーク・サポートの拡張、およびカスタム PL/1 ルールの開発を可能にする PL/1 プログラム・モデル AIP の公開を含む、PL/1 の新規サポート。
- ・ コード・レビュー・ベースライン・サポート: コード・レビュー機能が拡張され、特定のベースライン・バージョンのコードに存在する違反はレポートせずに、新たに変更した COBOL および PL/1 コードのセクションで発生した違反をレポートする機能が追加されました。
- ・ 単体テストの自動化: zUnit が拡張され、テスト・データを設定および作成したり、テスト・データからテスト・ケースを作成するためのインターフェースやウィザードを提供することにより、COBOL テスト・ケース作成時の開発者の作業負荷が軽減されるようになりました。
- ・ CICS TS Feature Pack for Mobile Extensions v1.0 により、費用をかけてアプリケーションを変更することなく、既存の COBOL、C/C++、および PL/1 プログラムの範囲をモバイル・デバイスに拡張できます。近年導入された機能をさらに活用するために、Rational Developer for System z Enterprise Service Tools (EST) 機能が、CICS JSON Web Service 成果物を作成するためのツールを提供するようになります。このツールは、プロトコルに SOAP を、データ変換に XML を使用する COBOL および PL/1 アプリケーションの成果物の作成を EST がサポートするのと同じ方法で、CICS JSON Web Service 成果物を作成するためのツールです。
- ・ Rational Team Concert との統合の向上。効果的なリモート・プロジェクト・サポートやユーザー・ビルド機能の強化が含まれます。
- ・ IDE のスケーラビリティと信頼性: リモート z/OS 検索機能のパフォーマンスの向上を実現しました。

Rational Developer for System z の非推奨機能

以下の機能は非推奨機能として指定され、将来のリリースで製品から除去される可能性があります。これらの機能が将来除去されることによって悪影響を受けると考えられるお客様は、Rational クライアント・サポートにご連絡ください。それらのフィードバックが、将来の製品計画に考慮されることがあります。

- ・ IMS PL/1 トップダウン API
- ・ ローカル構文検査機能
- ・ Rational ClearCase SCM Adapter
- ・ RUP エクスプローラーおよびアドバイザー
- ・ Rational RequisitePro Integration
- ・ EST の IMS Web 2.0 プロジェクト
- ・ Application Deployment Manager 機能 (推奨の後継製品: CICS Explorer 機能)
- ・ Web サービス・エクスプローラー

Rational Developer for System z から除去された機能

以下の機能は既に非推奨機能として指定されており、V9.1 の時点で製品から除去されました。

- ・ EST の SOAP for CICS プロジェクト (バージョン 9.0.1 では非推奨)
- ・ Rational Cloud Toolkit (Smart Cloud Enterprise 用。既に営業活動を終了しており、後継製品は SoftLayer です。バージョン 9.0.1 では非推奨)

Rational Business Developer

Rational Business Developer は、マルチプラットフォーム・アプリケーション開発を簡素化するように設計されたプログラミング・テクノロジーである EGL 用の総合開発環境です。EGL を使用すると、開発者は、ビジネス・ニーズの実装への集中度を高め、複雑な基礎のフレームワークやミドルウェアへの集中度を下げるすることができます。EGL は、アプリケーションのすべてのパートにわたって共通のプログラミング言語およびモデルを提供し、Java、JavaScript、および COBOL などの一般的な言語を補完し、さらに、WebSphere Application Server、IBM Power Systems™、および CICS などの一般的なプラットフォームにデプロイします。EGL は、プログラマーが一貫した単一のプログラミング言語を使用して、従来の 3270/5250 アプリケーションやバッチ・アプリケーションだけでなく、モバイルおよび Web 2.0 ベースのユーザー・インターフェース、分散またはメインフレーム・ベースのビジネス/データベース・ロジック、および Web サービスを備えた、エンドツーエンド・アプリケーションを作成できるようにすることにより、生産性の向上を支援します。

Rational Business Developer のバージョン 9.1 での新機能

- ・ EGL Web および REST ベースのアプリケーションを CICS Translation Server V5.1 の Liberty Profile にデプロイする機能。
- ・ EGL コード内での拡張ユーザー文書機能や、CICS トランザクション ID のプログラム・レベルでの詳細な制御を可能にする新しい EGL 言語注釈。
- ・ 拡張 DataGrid 機能や TimePicker Mobile Dojo ウィジェットなど、Web 2.0 およびモバイルでの追加の Dojo ウィジェット機能。
- ・ ビジネス・パートナーがサード・パーティー・ツールを作成できるようにする新しい拡張ポイントと API。

Rational Business Developer の非推奨機能

以下の機能は非推奨機能として指定され、将来のリリースで製品から除去される可能性があります。これらの機能が将来除去されることによって悪影響を受けると考えられるお客様は、Rational クライアント・サポートにご連絡ください。それらのフィードバックが、将来の製品計画に考慮されることがあります。

- ・ EGL Java Server Faces (JSF) 開発ツールおよびランタイム (JSF プロジェクト作成ウィザードを含む)。IBM は、EGL を使用して新規アプリケーションを開発する場合、EGL Rich User Internet (RUI または Web 2.0) 機能を使用することを推奨します。非推奨の JSF 関連機能の詳細: JSF ページ・デザイナー (ページ・エディター、ページ・データ・ビュー、パレット・ビュー、プロパティ・ビュー、「クイック・エディット」ビュー)、JSF デバッガー、および Web コンテナ内での EGL JSF アプリケーションの実行で使用される EGL ランタイム・サポート。注: EGL が使用していた JWL (JSF Widget Library) も、V8.5.1 の時点において、Rational Application Developer V8.5.x メンテナンス・ストリームでは推奨されません。

Rational Business Developer から除去された機能

以下の機能は既に非推奨機能として指定されており、V9.1 の時点で製品から除去されました。このリリースからの除去とは、これらの機能を使用した新規開発ができなくなることを意味します。これらの機能を使用する既存の EGL ソース・コードは非推奨となりますが、作成およびデプロイすることはできます。

- ・ EGL Portlet 開発ツールおよびランタイム: これには、EGL 言語内の EGL Portlet プロジェクト作成ウィザードおよび Portallib が含まれます。IBM は、EGL を使用した新規アプリケーション開発では、EGL Rich User Internet (RUI) 機能または Web 2.0 機能の使用を推奨します。
- ・ 以下を含む Informix® 4GL (I4GL) から EGL へのマイグレーション・ツールおよび EGL I4GL 関連のランタイム機能: I4GL から EGL へのマイグレーション・ツール、I4GL アプリケーション変換ウィザード、I4GL 共有ライブラリー変換ウィザード、Informix データベース・スキーマ抽出ウィザード。
- ・ Window、Menu、ConsoleForm、ConsoleField、Menu and MenuItem など、コンソール UI アプリケーションに固有の言語エレメントを含む、マイグレーション済み I4GL アプリケーション (EGL ではコンソール UI と呼ばれる) を使用可能にする EGL 言語およびランタ

イム・サポート。これには、curses、Swing、RCP (Rich Client Platform) を含むすべての
コンソール UI アプリケーション・モードが含まれます。

- ・ EGL プラグイン・プロジェクト作成ウィザード。
- ・ 以下を含む Jasper レポートとの EGL 統合: JasperReportHandler 言語エレメント、EGL
プロジェクトの Jasper 機能の構成を可能にするツール、EGL プロジェクト作成ウィザード
およびプロジェクト・プロパティ・ページ。IBM は、EGL を使用して新規レポートを作
成する場合、BIRT の EGL サポートを使用することを推奨します。

Rational Developer for the Enterprise

Rational Developer for the Enterprise は、個別に購入可能な以下のオファリングで構成さ
れる「ソフト・バンドル」オファリングです。

- ・ Rational Application Developer for WebSphere Software
- ・ Rational Developer for System z
- ・ Rational Developer for I RPG and COBOL Tools
- ・ Rational Developer for AIX and Linux C/C++ Edition
- ・ Rational Developer for AIX and Linux AIX COBOL Edition
- ・ Rational Business Developer

このように、Rational Developer for i および Rational Developer for AIX and Linux に
関する本発表とその関連のソフトウェア発表 JP14-0234 (2014 年 4 月 28 日付) に記載され
ている、個別の製品に関連する継続機能、新規/非推奨機能、および除去された機能はすべて、
Rational Developer for the Enterprise に適用されます。

IBM ソフトウェアの翻訳に関する情報は、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/prodguid/v1r0/clarity/index.jsp>

開発意向表明

Linux on Power® の新規ディストリビューションをサポートする Rational ツールおよびコン
パイラーの合同開発意向表明:

IBM は、XL C/C++ コンパイラーおよび XL Fortran コンパイラーを、Ubuntu Server などの最
新の Linux ディストリビューションをサポートする POWER8™ テクノロジーを用いて構築され
た、新しい Linux 専用ベースの Power Systems を補完するために提供することを予定してい
ます。

IBM はさらに、その Linux 専用ベースの Power Systems 向けに、新しい Linux ディストリ
ビューションをサポートするための統合開発環境 (IDE) の更新と、計画されている XL C/C++
コンパイラーの更新を予定しています。詳細:

IBM は、新しい Linux on Power ディストリビューションをサポートするための、IBM
Rational Developer for AIX and Linux のサーバー・コンポーネントの更新を予定してい
ます。(主要なサーバー・コンポーネントは、デバッガー・エージェントと Remote Systems
Explorer エージェントです)。

IBM は、Rational Agent Controller コンポーネントの更新を予定しています。このコン
ポーネントにより IDE は、新しい Linux on Power ディストリビューション上で実行する
WebSphere Application Server をサポートするために、リモート WebSphere Application
Server インスタンスに接続して利用できるようになります。Remote Agent Controller はこれ
らの IDE の一部としてパッケージされています。すべての IDEは、WebSphere Application
Server on Linux on Power Systems にデブロイできるワークロード用の、Java/Java EE およ
び Web 開発をサポートします。

- ・ Rational Application Developer for WebSphere Software
- ・ Rational Developer for AIX and Linux
- ・ Rational Developer for i RPG and COBOL + Modernization Tools Java Edition
- ・ Rational Developer for the Enterprise

IBM は、新しい Linux on Power ディストリビューションをサポートするために、自動化されたビルド・プロセスおよびテスト・プロセスの一部として、開発者による対話モード、またはコマンド・ライン（「ヘッドレス」とも呼ばれる）モードのいずれかで実行されるように設計された IDE の特定の機能を更新する予定です。これらの機能には以下が含まれる可能性があります。以下が含まれることが保証されるわけではありません。

- ・ 行レベルのコード対象分析
- ・ 静的コード分析（論理コーディング・エラーとベスト・プラクティス逸脱のルール・ベースの検出）
- ・ アプリケーションのプロファイル作成（パフォーマンス、メモリー、およびスレッド分析）

総合的な目的は、予定されている Linux 専用ベースの Power Systems 向け XL C/C++ コンパイラーと組み合わせて使用する場合に、Rational IDE が、Linux on Power Systems 向けに最適化された包括的なアプリケーション開発、移植、および最適化ソリューションの主要な要素として機能するようにすることです。

機能、価値提案、システム要件、料金、トライアル・バージョンの利用など、統合開発環境の完全な情報については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www-03.ibm.com/software/products/en/developer>

そこから目的の IDE に関する詳細情報にナビゲートしてください。

具体的な製品化の最終決定は、あくまでも IBM の技術上及び経営上の判断に基づいて行われません。今後の製品に関する情報は、IBM の製品の一般的な方向性を示すことを目的としたものであり、発注の意思決定のための判断基準の利用を意図したものではありません。今後の製品に関する情報は、いかなる資料、コード、または機能性の提供というコミットメント、約束、または法律上の義務について言及するものでもありません。今後の製品に関する情報は、いかなる契約にも含めることはできません。IBM 製品について記載される今後のいかなるフィーチャーまたは機能の開発、発表、および時期は、IBM の判断で決定されます。

各国語の出荷予定

Product description	Language	GA date
IBM RDE V9.1.0	Multilingual (French, Korean, Chinese - Simplified, Spanish, Portuguese-Brazilian, German, Japanese, Chinese - Traditional, English, Italian)	June 6, 2014
RDz V9.1.0	Multilingual (French, Korean, Chinese - Simplified, Spanish, Portuguese-Brazilian, German, Japanese, Chinese - Traditional, English, Italian)	June 6, 2014
Ratl Application Developer V9.1.0	Multilingual (French, Russian, Arabic, Korean,	June 6, 2014

Ratl Business Developer V9.1.0	Chinese - Simplified, Spanish, Portuguese-Brazilian, German, Japanese, Chinese - Traditional, Hungarian, English, Czech, Italian, Polish) Multilingual (French, Russian, Arabic, Korean, Chinese - Simplified, Spanish, Portuguese-Brazilian, German, Japanese, Chinese - Traditional, Hungarian, English, Czech, Italian, Polish)	June 6, 2014
-----------------------------------	--	--------------

プログラム番号

Program number	VRM	Program name
5724-J19	9.1.0	IBM Rational Application Developer for WebSphere Software
5724-S50	9.1.0	IBM Rational Business Developer
5724-T07	9.1.0	IBM Rational Developer for System z
5725-K78	9.1.0	IBM Rational Developer for the Enterprise

教育サポート

以下にリストされているように、以下の教育用製品が利用可能です。

Course code	Course title	Course type
SW913	Advanced Web-to-Host Application Integration using IBM WebSphere HATS	Classroom
SW337	CICS AD support for SOAP and XML	Classroom
CI172	CICS Application Programming I	Classroom
CI181	CICS Application Programming II	Classroom
CI19	CICS Application Programming with Java	Classroom
SW336	CICS Web Enablement	Classroom
XC242	COBOL Programming Workshop	Classroom

RN110	COBOL with IBM Classroom Rational Developer for System z V8.0.3	
CI71	Connecting CICS to WebSphere Application server via CICS Transaction Gateway	Classroom
SW737	Connecting the Enterprise	Self-study
SW758	EGL Generation of COBOL using WebSphere Developer for System z	Self-study
SW757	EGL and JSF Development using WebSphere Developer for System z	Self-study
SW509	EGL for z/OS Classroom Environments using WebSphere Developer for System z	
SW728	Enterprise Development with IBM WebSphere Developer for System z	Self-study
SW745	Fault Analyzer	Self-study
SW744	File Manager	Self-study
SW912	IBM WebSphere Host Access Transformation Services Introduction	Classroom
SW501	Intro to Web Services Development with IBM Rational Application Developer	Classroom
JA321	Introduction to Developing OO Applications with Java for Procedural Developers	Classroom
SW700	Introduction to EDI Concepts and Standards	Self-study
SW244	Introduction to Java Classroom using IBM Rational Application Developer	
WF311	Servlet and JSP Development with IBM Rational Application Developer	Classroom
SW502	Web Services Development with IBM Rational Application Developer	Classroom

IBM 研修は、多くの IBM オファリングをサポートするための教育を提供します。IT のプロフェッショナルと管理者を対象とするコースの説明は、次の『IBM Training (IBM 研修)』の Web サイトに掲載されています。

<http://www.ibm.com/services/learning/>

製品情報は、以下の Offering Information Web サイトで入手可能です。

<http://www.ibm.com/common/ssi>

以下の パスポート・アドバンテージ® Web サイトもご覧ください。

<http://www.ibm.com/software/passportadvantage>

製品資料

この製品とともに出荷される出版物はありません。

IBM Publications Center

<http://www.ibm.com/shop/publications/order>

Publications Center は、70,000 品目のカタログと、IBM 製品出版物およびマーケティング資料のための全世界に対する中央リポジトリです。広範な検索機能が提供されています。発注の支払オプションとしては、クレジットカード（米国）を使用するか、または 20 カ国でお客様番号を利用できます。さまざまなファイル・フォーマットの多数の出版物をオンラインで利用することができ、それらすべてをすべての国でダウンロードできます。

技術情報

所定稼働環境

前提ハードウェア

ディスク・スペース：最小 2 - 5 GB、RAD/WAS の構成に応じて異なります；推奨 2 - 5 GB、RAD/WAS の構成に応じて異なります。

注意事項：

- ・ ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) によって、パフォーマンスをさらに向上できる場合があります。ハイエンド構成（大規模なワークスペース/複数の WAS）：2 - 5 GB、RAD/WAS の構成に応じて異なります。
- ・ WAS テスト環境を追加するには、追加のディスク・スペースが必要になる場合があります。

ディスプレイ：最小 1024 x 768；推奨 1280 x 1024。

メモリー：最小 3 GB RAM；推奨 4 GB RAM。ハイエンド構成（大規模なワークスペース/複数の WAS）：6 GB RAM

プロセッサ：最小 32 ビット (x86) Core2 Duo（または同等のもの）；推奨 64 ビット (x64) Core2 Quad（または同等のもの）。ハイエンド構成（大規模なワークスペース/複数の WAS）：64 ビット (x64) プロセッサ、i5（または同等のもの）、またはそれ以上。

前提ソフトウェア

プログラムの仕様と所定稼働環境に関する情報は、プログラムに付属する README ファイルなどの資料（存在する場合）、またはその他の IBM 公開情報（発表レターなど）に記載されています。資料やプログラムに関するその他のコンテンツは、英語以外の言語では提供されない場合があります。

計画情報

ソフトウェア・サブスクリプション&サポート（「ソフトウェア・メンテナンス」とも呼ばれる）は、パスポート・アドバンテージ および パスポート・アドバンテージ・エクスプレス® により注文されたライセンスに含まれています。製品のアップグレードおよび技術サポートは、契約の記述に従ってソフトウェア・サブスクリプション&サポート（ソフトウェア・メンテナンスともいう）オフリングによって提供されます。製品アップグレードでは、対象ソフトウェアの最新バージョンおよびリリースが提供され、技術サポートでは、世界中の IBM サポート組織への音声および電子アクセスが提供されます。

取得された各プログラム・ライセンスには、1年間のソフトウェア・サブスクリプション&サポート（「ソフトウェア・メンテナンス」とも呼ばれる）が含まれています。ソフトウェア・サブスクリプション&サポート（ソフトウェア・メンテナンスともいう）の初期保守期間は、更新オプション（選択可能な場合）を注文することによって延長できます。

セキュリティ、監査性およびコントロール

アプリケーション・システムや通信機能でのセキュリティ機能、管理手順、および適切な制御を、評価、選択、実装することは、お客様の責任で行っていただきます。

発注情報

本製品は、パスポート・アドバンテージを介してのみ提供されます。本製品は、パッケージ製品としては提供されません。

本製品は、IBM から直接、または Software Value Plus として認定された IBM ビジネス・パートナーからのみご購入いただけます。

IBM Software Value Plus について詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。

http://www.ibm.com/partnerworld/page/svp_authorized_portfolio

特定の Software Value Plus ポートフォリオについて認定された、お客様の地域の Software Value Plus IBM ビジネス・パートナーについては、以下の Web サイトを参照してください。

<http://www.ibm.com/partnerworld/wps/bplocator/>

製品情報

Licensed function title	Product group	Product category
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software	Design and Construction	Design and Construction
IBM Rational Business Developer	Design and Construction	Design and Construction
IBM Rational Developer for System z	Rational Other	Rational for System z Tools
IBM Rational Developer for the Enterprise	Rational for System z Tools	Rational for System z Tools

Program name	PID number	Charge unit description
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software	5724-J19	Per Authorized User
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software	5724-J19	Per Authorized User for System z
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software	5724-J19	Per Floating User Single Install
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software	5724-J19	Per Floating User Single

IBM Rational Business Developer	5724-S50	Install for System z Per Floating User for System z
IBM Rational Business Developer	5724-S50	Per Floating User
IBM Rational Business Developer	5724-S50	Per Authorized User
IBM Rational Business Developer	5724-S50	Per Authorized User for System z
IBM Rational Developer for System z	5724-T07	Per Floating User Single Install
IBM Rational Developer for System z	5724-T07	Per Authorized User
IBM Rational Developer for the Enterprise	5725-K78	Per Authorized User
IBM Rational Developer for the Enterprise	5725-K78	Per Authorized User for System z
IBM Rational Developer for the Enterprise	5725-K78	Per Floating User Single Install
IBM Rational Developer for the Enterprise	5725-K78	Per Floating User Single Install for System z

課金単位の説明

許可ユーザー

許可ユーザーは、プログラムのライセンス交付を受けるための測定単位です。許可ユーザーとは、プログラムへのアクセス権を付与された個人をいいます。プログラムは任意の数のコンピューターまたはサーバーにインストールすることができ、各許可ユーザーはプログラムの任意の数のインスタンスに同時にアクセスできます。ライセンス所有者は、任意の手段を介して、そのプログラムに直接的または間接的に（例えば、多重化プログラム、デバイス、またはアプリケーション・サーバー経由で）アクセスする許可ユーザーごとに個別の専用ライセンスを取得する必要があります。許可ユーザー・ライセンスはその許可ユーザーに固有のものであり、共有することはできません。また、別の個人に永続的に移転する場合を除き、再割り当てすることはできません。

注：プログラムによっては、デバイスをユーザーと見なしてライセンスが交付されるものがあります。その場合、以下が適用されます。「プログラム」から一組のコマンド、プロシージャ、またはアプリケーションの実行を要求する、またはその実行を受信するコンピューティング・デバイス、あるいはそうでなければ「プログラム」によって管理されるコンピューティング・デバイスはプログラムの別々のユーザーとみなされ、そのデバイスが人間として扱われるため、ライセンスが必要となります。

フローティング・ユーザー単一セッション

フローティング・ユーザー単一セッションは、プログラムのライセンス交付を受けるための測定単位です。フローティング・ユーザーは、特定の時点でプログラムにアクセスしているユーザーをいいます。そのユーザーが同一のコンピューターまたは複数のコンピューターのいずれかで、プログラムに同時に複数回アクセスしている場合、個々の同時アクセスは別個のフローティング・ユーザーとしてカウントされます。プログラムは任意の数のコンピューターまたはサーバーにインストールすることができますが、ライセンス所有者はプログラムの最大数の同時フローティング・ユーザーに対してライセンスを取得する必要があります。ライセンス所有者は、何らかの手段で直接的または間接的に（例えば、多重化プログラム、デバイス、またはアプリケーション・サーバー経由で）プログラムに同時にアクセスするフローティング・ユーザーごとにライセンスを取得する必要があります。

注：プログラムによっては、デバイスをユーザーと見なしてライセンスが交付されるものがあります。その場合は、以下のことが適用されます。「プログラム」から一組のコマンド、プロシージャ、またはアプリケーションの実行を要求する、またはその実行を受信するコンピューティング・デバイス、あるいはそうでなければ「プログラム」によって管理されるコン

ピューティング・デバイスはプログラムの別々のユーザーとみなされ、そのデバイスが人間として扱われるため、ライセンスが必要となります。

フローティング・ユーザー

フローティング・ユーザーは、プログラムのライセンス交付を受けるための測定単位です。フローティング・ユーザーは、特定の時点でプログラムにアクセスしているユーザーをいいます。「インストール」は、コンピューター上で実行するように使用可能にされた物理または仮想ディスク上の「プログラム」のインストール済みコピーです。プログラムは任意の数のコンピューターまたはサーバーにインストールできますが、フローティング・ユーザーがプログラムの複数のインストールに同時アクセスする場合、フローティング・ユーザーには、そのインストールごとの別個のライセンスが必要となります。ライセンス所有者は、何らかの手段で各インストール上のプログラムに直接的または間接的に（例えば、多重化プログラム、デバイス、またはアプリケーション・サーバーを介して）同時アクセスするフローティング・ユーザーごとに、別個のライセンスを取得する必要があります。

注：プログラムによっては、デバイスをユーザーと見なしてライセンスが交付されるものがあります。その場合は、以下のことが適用されます。「プログラム」から一組のコマンド、プロシージャー、またはアプリケーションの実行を要求する、またはその実行を受信するコンピューティング・デバイス、あるいはそうでなければ「プログラム」によって管理されるコンピューティング・デバイスはプログラムの別々のユーザーとみなされ、そのデバイスが人間として扱われるため、ライセンスが必要となります。

パスポート・アドバンテージ のプログラム・ライセンス

IBM Rational Business Developer

Part description	Part number
IBM Rational Business Developer	
Ratl Business Developer Per Authorized User Annual SW S&S Rnw1	E03SULL
Ratl Business Developer Per Authorized User Initl FT Lic+S&S 12 Mo	D610CLL
Ratl Business Developer Per Authorized User Lic + SW S&S 12 Mo	D6105LL
Ratl Business Developer Per Authorized User SW S&S Reinstate 12 Mo	D6106LL
Ratl Business Developer Per Authorized User Subsq FT Lic+S&S 12 Mo	E03SYLL
Ratl Business Developer Per Floating User Annual SW S&S Rnw1	E03STLL
Ratl Business Developer Per Floating User Initl FT Lic+S&S 12 Mo	DOB6LL
Ratl Business Developer Per Floating User Lic + SW S&S 12 Mo	D6103LL
Ratl Business Developer Per Floating User SW S&S Reinstate 12 Mo	D6104LL
Ratl Business Developer Per Floating User Subsq FT Lic+S&S 12 Mo	E0823LL

IBM Rational Business Developer Extension for VSE

Part description	Part number
IBM Rational Business Developer Extension for VSE	
Ratl Business Developer Ext for VSE Auth User Annual SW S&S Rnw1	E0669LL
Ratl Business Developer Ext for VSE Auth User Lic + SW S&S 12 Mo	D07A4LL
Ratl Business Developer Ext for VSE Auth User SW S&S Reinstate 12 Mo	D07A5LL
Ratl Business Developer Ext for VSE Floating User Annual SW S&S Rnw1	E0667LL
Ratl Business Developer Ext for VSE Floating User Lic + SW S&S 12 Mo	D07A0LL
Ratl Business Developer Ext for VSE Floating User SW	D07A1LL

S&S Reinstate 12 Mo

IBM Rational Developer for System z

Part description	Part number
IBM Rational Developer for System z	
RDz Per Authorized User for System z Annual SW S&S Rnwl	EODWPLL
RDz Per Authorized User for System z Initl FT Lic+S&S 12 Mo	DOPZJLL
RDz Per Authorized User for System z Lic + SW S&S 12 Mo	DOPZBLL
RDz Per Authorized User for System z SW S&S Reinstate 12 Mo	DOPZCLL
RDz Per Authorized User for System z Subsq FT Lic+S&S 12 Mo	EODWRLL
RDz Per Floating User Single Inst for System z Annual SW S&S Rnwl	EODWQLL
RDz Per Floating User Single Inst for System z Initl FT Lic+S&S 12 Mo	DOPZKLL
RDz Per Floating User Single Inst for System z Lic + SW S&S 12 Mo	DOPZELL
RDz Per Floating User Single Inst for System z SW S&S Reinstate 12 Mo	DOPZFLL
RDz Per Floating User Single Inst for System z Subsq FT Lic+S&S 12 Mo	EODWSLL

IBM Rational Developer for the Enterprise

Part description	Part number
IBM Rational Developer for the Enterprise	
IBM RDE Per Authorized User Annual SW S&S Rnwl	EOHNNLL
IBM RDE Per Authorized User Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQ9LL
IBM RDE Per Authorized User SW S&S Reinstate 12 Mo	DOZQDLL
IBM RDE Per Floating User Single Inst Annual SW S&S Rnwl	EOHNNLL
IBM RDE Per Floating User Single Inst Initl FT Lic+S&S 12 Mo	DOZRILL
IBM RDE Per Floating User Single Inst Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQBLL
IBM RDE Per Floating User Single Inst SW S&S Reinstate 12 Mo	DOZQFLL
IBM RDE Per Floating User Single Inst Subsq FT Lic+S&S 12 Mo	EOHNQLL

IBM Rational Application Developer for WebSphere Software

Part description	Part number
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software	
Ratl Application Dev for WebSphere SW Auth User Annual SW S&S Rnwl	E01MJLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW Auth User Initl FT Lic + SW S&S 12 Mo	D54SDLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW Auth User Lic + SW S&S 12 Mo	D54N4LL
Ratl Application Dev for WebSphere SW Auth User Subsq FT Lic + SW S&S 12 Mo	D54SELL
Ratl Application Dev for WebSphere SW AuthUser SW S&S Reinstate 12 Mo	D54N5LL
Ratl Application Dev for WebSphere SW FU SnglInst SW S&S Reinstate 12 Mo	D54NCLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW FltUser SnglInst Annual SW S&S Rnwl	E01MKLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW FltUser SnglInst Lic + SW S&S 12 Mo	D54NBLL

IBM Rational Business Developer

Precursor product	Trade-up product	Trade-up part number
IBM Rational Business Developer VaGen or Informix 4GL	Ratl Bus Dev AthUsr from VAGEN or Informix 4GL Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D6114LL
Ratl Business Developer Authorized User(s)	Ratl Bus Dev FltUsr fr Ratl Bus Dev Ext AthUsr Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D6115LL

IBM Rational Developer for System z

Precursor product	Trade-up product	Trade-up part number
IBM Rational Developer for System z		
IBM Rational Developer for i RPG & COBOL Tools	RDz RPG COBOL +MT JE FUSI TUF RPG COBOL Tools FUSI Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D11PRLL
Competitive User	RDz Per AU for System z DOPZDLL tradeup from Competitor Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	
IBM Rational Developer for System z trade up from RDz	RDz Per FUSI for System z DOPZGLL AU Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	

IBM Rational Developer for the Enterprise

Precursor product	Trade-up product	Trade-up part number
IBM Rational Developer for the Enterprise		
IBM Rational Developer for AIX and Linux AIX COBOL Edition Authorized User	IBM RDE Per Authorized User Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQKLL
IBM Rational Developer for System z Authorized User	IBM RDE Per Authorized User Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQMLL
Competitor	IBM RDE Per Authorized User Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZRELL
IBM Rational Application Developer for WebSphere User Software Authorized User	IBM RDE Per Authorized User Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQHLL
IBM Rational Business Developer Authorized User	IBM RDE Per Authorized User Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQILL
IBM Rational Developer for AIX and Linux C/C++Edition Authorized User	IBM RDE Per Authorized User Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQJLL
IBM Rational Developer for System z Floating User Single Install	IBM RDE Per Floating User Single Inst Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZR2LL
IBM Rational Developer for the Enterprise Authorized User	IBM RDE Per Floating User Single Inst Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZR3LL
Competitor	IBM RDE Per Floating User	DOZRGLL

	Single Inst Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	
IBM Rational Developer for AIX and Linux AIX COBOL Edition FU	IBM RDE Per Floating User Single Inst Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZROLL
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software FU	IBM RDE Per Floating User Single Inst Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZQXLL
IBM Rational Business Developer FU	IBM RDE Per Floating User Single Inst Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZQYLL
IBM Rational Developer for AIX and Linux C/C++Edition FU	IBM RDE Per Floating User Single Inst Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZQZLL

Rational Application Developer

Precursor product	Trade-up product	Trade-up part number
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software		
Competitive Products A	RAD Auth Usr from Competitive (List 1) Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D54N8LL
Competitive Products B	RAD Auth Usr from Competitive (List 2) Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D54N9LL
IBM Rational Application Developer Standard Edition for WebSphere Lic + SW S&S	RAD Auth Usr from Rose Dev for Java Auth Usr Trdup 12 Mo	D54N6LL
Rational Rose Developer for Java or RWD Auth Usr	RAD Auth Usr from WSSD Usr Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D54N7LL
Competitive Products A	RAD FloatUser Single Install from RWD Flt Usr Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D54NELL
IBM Rational Application Developer Standard Edition for WebSphere Trdup Lic + SW S&S	RAD FltUsr SingleInstall from Competitive Products 12 Mo	D54NZLL
Rational Rose Developer for Java WSAD User or RAD Ath User	RAD FltUsr SnglInst from Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D54NFLL
RWD Floating User	RAD FltUsr SnglInst from Rose Dev for Java Flt Usr Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D54NDLL
WSSD Usr or RWD Auth Usr	Ratl App Dev for WebSphere AuthUser from RAD SE AU Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D0DZPLL
WSAD User or RAD Authorized User	Ratl App Dev for WebSphere FU SnglInst from RAD SE Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D0DZNLL

パスポート・アドバンテージ による提供

Program name/description	Part number
IBM RDE V9.1.0	
IBM RATIONAL DEVELOPER FOR THE ENTERPRISE V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLDML
RDz V9.1.0	
IBM RATIONAL DEVELOPER FOR SYSTEM Z V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLCML
Ratl Application Developer V9.1.0	
IBM Rational Application Developer for WS Software V9.1 MP ML Media Pack	BTOL8ML
Ratl Business Developer V9.1.0	
IBM RATIONAL BUSINESS DEVELOPER V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLBML

リストされている製品のメンテナンスまたはサブスクリプションが有効であるお客様は、対応するメディア・パックを受け取る資格があります。

Ratl Business Developer V9.1.0

Entitled maintenance offerings description	Media packs description	Part number
IBM Rational Business Developer Authorized User	IBM RATIONAL BUSINESS DEVELOPER V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLBML
IBM Rational Business Developer Floating User	IBM RATIONAL BUSINESS DEVELOPER V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLBML
IBM Rational Business Developer for System z per Authorized User	IBM RATIONAL BUSINESS DEVELOPER V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLBML
IBM Rational Business Developer for System z per Floating User	IBM RATIONAL BUSINESS DEVELOPER V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLBML

Ratl Application Developer V9.1.0

Entitled maintenance offerings description	Media packs description	Part number
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software Authorized User	IBM Rational Application Developer for WS Software V9.1 MP ML Media Pack	BTOL8ML
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software Authorized User for System z	IBM Rational Application Developer for WS Software V9.1 MP ML Media Pack	BTOL8ML
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software Floating User Single Install	IBM Rational Application Developer for WS Software V9.1 MP ML Media Pack	BTOL8ML
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software Floating User Single Install for System z	IBM Rational Application Developer for WS Software V9.1 MP ML Media Pack	BTOL8ML

IBM RDE V9.1.0

Entitled maintenance offerings description	Media packs description	Part number
IBM Rational Developer for the Enterprise per Authorized User	IBM RATIONAL DEVELOPER FOR THE ENTERPRISE V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLDML
IBM Rational Developer for the Enterprise per Authorized User for System z	IBM RATIONAL DEVELOPER FOR THE ENTERPRISE V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLDML
IBM Rational Developer for the Enterprise per Floating User Single Install	IBM RATIONAL DEVELOPER FOR THE ENTERPRISE V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLDML
IBM Rational Developer for the Enterprise per Floating User Single Install for System z	IBM RATIONAL DEVELOPER FOR THE ENTERPRISE V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLDML

Entitled maintenance offerings description	Media packs description	Part number
IBM Rational Developer for System z per Authorized User for System z MP ML	IBM RATIONAL DEVELOPER FOR SYSTEM Z V9.1 MEDIA PACK	BTOLCML
IBM Rational Developer for System z per Floating User Single Install for System z	IBM RATIONAL DEVELOPER FOR SYSTEM Z V9.1 MEDIA PACK MP ML	BTOLCML

クロスプラットフォーム製品

System z 上で使用するためのクロスプラットフォーム製品

この製品を使用して System z サーバーにデプロイするコードを開発する場合、またはこの製品で分散サーバーと System z サーバーの間の通信またはデータ転送を行う場合は、以下のパーツ番号で発注をしてください。それ以外の場合は、本発表レター上の他のパーツ番号で発注してください。これらのパーツ番号は、本発表レター上の他の番号と同じ機能と権限を提供します。

IBM Rational Business Developer

Part description	Part number
IBM Rational Business Developer	
Ratl Business Developer Per Auth.User for System z E03SWLL Annual SW S&S Rnwl	
Ratl Business Developer Per Auth.User for System z DOBJ8LL Initl FT Lic+S&S 12 Mo	
Ratl Business Developer Per Auth.User for System z Lic + SW S&S 12 Mo	D6109LL
Ratl Business Developer Per Auth.User for System z SW S&S Reinstate 12 Mo	D610ALL
Ratl Business Developer Per Auth.User for System z E0825LL Subsq FT Lic+S&S 12 Mo	
Ratl Business Developer Per Float.User for System z E03SVLL Annual SW S&S Rnwl	
Ratl Business Developer Per Float.User for System z DOBJ7LL Initl FT Lic+S&S 12 Mo	
Ratl Business Developer Per Float.User for System z Lic + SW S&S 12 Mo	D6107LL
Ratl Business Developer Per Float.User for System z SW S&S Reinstate 12 Mo	D6108LL
Ratl Business Developer Per Float.User for System z E0824LL Subsq FT Lic+S&S 12 Mo	

IBM Rational Business Developer Extension for VSE

Part description	Part number
IBM Rational Business Developer Extension for VSE	
Ratl Business Developer Ext for VSE Auth User Sys z SW S&S Reinstate 12 Mo	D07A3LL
Ratl Business Developer Ext for VSE Auth User System z E0668LL S&S Reinstate 12 Mo	
Ratl Business Developer Ext for VSE Auth User System z D07A2LL Lic + SW S&S 12 Mo	
Ratl Business Developer Ext for VSE Float User Sys z SW S&S Reinstate 12 Mo	D079RLL
Ratl Business Developer Ext for VSE Floating User Sys z Lic + SW S&S 12 Mo	D079QLL
Ratl Business Developer Ext for VSE Floating User Sys z Annual SW S&S Rnwl	E0662LL

IBM Rational Application Developer for WebSphere Software

Part description	Part number
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software	
Ratl Application Dev for WebSphere SW AU for zSer Annual SW S&S Rnwl	E035NLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW AU for zSer Lic + SW S&S 12 Mo	D59WCLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW AU for zSer SW S&S Reinstate 12 Mo	D59WDLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW FU SI Sysz SW S&S Reinstate 12 Mo	D59WBLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW FU SnglInst Sysz Annual SW S&S Rnwl	E035MLL
Ratl Application Dev for WebSphere SW FU SnglInst Sysz Lic + SW S&S 12 Mo	D59WALL

System z IFL エンジンおよび/または zEnterprise® BladeCenter® Extension 上で使用するためのクロスプラットフォーム製品

この製品を zEnterprise BladeCenter Extension、または System z IFL エンジンの Linux オペレーティング・システム（またはその両方）で実行する場合は、以下のパーツ番号で発注してください。この製品をこれらの環境で実行しない場合は、本発表レター上の別のパーツ番号のセットで発注してください。これらのパーツ番号は、本発表レター上の他の番号と同じ機能と権限を提供します。

クロスプラットフォーム製品用のトレードアップ・ライセンス

IBM Rational Developer for the Enterprise

Precursor product	Trade-up product	Part number
IBM Rational Developer for the Enterprise		
IBM Rational Developer for System z Authorized User	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQVLL
IBM Rational Developer for AIX and Linux AIX COBOL Edition Authorized User	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQTLL
IBM Rational Developer for Competitor	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZRFLL
IBM Rational Developer for System z Authorized User for System z S&S 12 Mo	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW	DOZQWLL
IBM Rational Developer for AIX and Linux C/C++ Edition Authorized User	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQSLL
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software AU for System z S&S 12 Mo	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW	DOZQPLL
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software Authorized User	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQNLL
IBM Rational Business Developer Authorized User for System z S&S 12 Mo	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW	DOZQRLL
IBM Rational Business Developer Authorized User	IBM RDE Per Auth.User for System z Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZQQLL
IBM Rational Developer for System z Floating User Single Install for System z	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	DOZRCLL
IBM Rational Developer for	IBM RDE Per Float User	DOZR9LL

AIX and Linux AIX COBOL Edition FU	Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	
IBM Rational Developer for the Enterprise Authorized User for System z Lic + SW	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up S&S 12 Mo	D0ZRDL
IBM Rational Developer for System z Floating User Single Install	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZRBLL
Competitor	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZRHLL
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software FU Sys z	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZR5LL
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software FU	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZR4LL
IBM Rational Business Developer FU	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZR6LL
IBM Rational Developer for AIX and Linux C/C++Edition FU	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZR8LL
IBM Rational Business Developer FU for System z	IBM RDE Per Float User Sngl In Systemz Trade Up Lic + SW S&S 12 Mo	D0ZR7LL

Rational Application Developer

Precursor product	Trade-up product	Part number
IBM Rational Application Developer for WebSphere Software		
Competitive Products A	RAD Auth Usrz from Competitive (List 1) Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D59WKLL
Competitive Products B	RAD Auth Usrz from Competitive (List 2) Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D59WLLL
IBM Rational Application Developer Standard Edition for WebSphere Lic + SW S&S	RAD Auth Usrz from Rose Dev Java Auth Usr Trdup 12 Mo	D59WILL
Rational Rose Developer for Java Auth Usr or RWD Auth Usr	RAD Auth Usrz from WSSD Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D59WJLL
Competitive Products A	RAD FU SnglInst Sysz frm Rose Dev for Java Flt Usr Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D59WELL
IBM Rational Application Developer Standard Edition for WebSphere S&S 12 Mo	RAD FU SnglInst Sysz from Competitive Trdup Lic + SW	D59WHLL
Rational Rose Developer for Java RWD Flt Usr Trdup	RAD FU SnglInst Sysz from Lic + SW S&S 12 Mo	D59WFLL
RWD Floating User	RAD FU SnglInst Sysz from WSAD or RAD Ath User Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D59WGLL
WSSD Usr or RWD Auth Usr	Ratl App Dev for WebSphere AU System z from RAD SE Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D0DZRLL
WSAD User or RAD Authorized User	Ratl App Dev for WebSphere FU SI Sysz from RAD SE Trdup Lic + SW S&S 12 Mo	D0DZQLL

この発表レターに記載されている情報は、参考のため、および便宜上の目的のためにのみ提供されています。IBM とのあらゆる取引を規定する契約条件については、IBM プログラムのご使用条件、IBM インターナショナル・パスポート・アドバンテージ 契約、および IBM ソフトウェア・メンテナンス取得契約などの該当する契約書に記載されています。

ライセンス交付

ライセンス情報文書およびライセンス証書 (PoE) を含む IBM プログラムのご使用条件は、お客様によるプログラムの使用を規定します。すべての許可使用に、PoE が必要です。

パスポート・アドバンテージ 以外から提供されるパーツ番号のみの製品 (適用される場合は、使用を許諾されるだけで、ソフトウェア・メンテナンスは含まれません)。

このソフトウェア・ライセンスには、ソフトウェア・サブスクリプション&サポート (ソフトウェア・メンテナンスともいう) が含まれています。

ライセンス情報番号

Program name	Program number	LI number
IBM Rational Business Developer	5724-S50	L-MEVS-9GUNQA / L-MEVS-9GUR2Z
IBM Rational Developer for System z	5724-T07	L-DCWN-9G7J6Y
IBM Rational Developer for the Enterprise	5725-K78	L-DCWN-9G7J6Y
Rational Application Developer	5724-J19	L-MCHN-9GHRH4

このプログラムのライセンス情報は、次の IBM Software License Agreement Web サイトで参照できます。

<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf>

限定保証の適用

あり

限定保証

IBM は、「プログラム」について、お客様が「プログラム」を IBM 所定の稼動環境で使用する限り、IBM 所定の仕様に合致することを保証します。かかる保証は、「プログラム」の変更の加えられていない部分についてのみ適用されるものとします。IBM は、「プログラム」の実行が中断しないこともしくはその実行に誤りがないこと、または、すべての誤りが修正されることを保証しません。「プログラム」の使用結果については、お客様の責任とします。

IBM は、お客様に対して、既知の「プログラム」の誤り、誤りの修正、制限事項および回避措置に関する情報を含んだ IBM データベースへのアクセスを追加料金無しで提供します。詳細については、以下の Web サイトにある「IBM ソフトウェア・サポート・ハンドブック」を参照してください。

<http://www.ibm.com/support/handbook>

IBM は、「プログラム」の当初の使用権の取得者が「プログラム」を取得してから最低 1 年間 (以下「保証期間」といいます。)、この情報を提供します。

プログラム技術サポート

プログラム製品のバージョンまたはリリースの技術サポートは、一般出荷可能日から最低 3 年間、お客様のソフトウェア・メンテナンスが有効である限り利用することができます。この技術サポートでは、プログラム製品のインストールおよび操作に関する製品固有の作業本位の質問について、IBM からの (電話または電子的手段による) 支援を受けることができます。ソフ

トウェア・メンテナンスは、プログラムの更新（モディフィケーションまたはフィックス）、リリース、およびバージョンへのアクセスも提供します。サポートの終了は、発表レターによって終了の 12 カ月前までにお客様に通知されます。終了日以降へのサポートの延長も含め、IBM から追加の技術サポートが必要な場合は、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせください。この延長は有料でご利用いただけます。

返金保証

明確にするために、以下のことにご留意ください。なんらかの理由で本プログラムに満足いただけなかった場合は、オリジナル・ライセンス所有者である場合に限り、送り状の日付から 30 日以内に本プログラムとその PoE を販売元にお返しいただければ、お支払い額を返金いたします。本プログラムをダウンロードした場合の返金のお受け取り方法につきましては、本プログラムをお買い求めの販売元にお問い合わせください。

- ・ 明確にするために、以下のことをご留意ください。IBM インターナショナル・パスポート・アドバンテージ 契約のもとで取得されたプログラムの場合、この条件は、当該プログラムの最初の取得に対してのみ適用されます。

ボリューム発注 (IVO)

なし

パスポート・アドバンテージの適用

あり。以下のパスポート・アドバンテージ Web サイトを通じて提供されます。

<http://www.ibm.com/software/passportadvantage>

本製品は、パスポート・アドバンテージを介してのみ提供されます。本製品は、パッケージ製品としては提供されません。

使用制限

あり。詳細については、以下の IBM Software License Agreement Web サイトにあるライセンス情報 (LI) の文書を参照してください。

<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf>

ソフトウェア・サブスクリプション&サポートの適用

あり。ソフトウェア・サブスクリプション&サポートは、パスポート・アドバンテージ およびパスポート・アドバンテージ・エクスプレス を通じて購入されたライセンスに含まれています。製品アップグレードおよび技術サポートは、契約に記載されたソフトウェア・サブスクリプション&サポート（「ソフトウェア・メンテナンス」とも呼ばれる）のオフオファリングによって提供されます。製品のアップグレードはお客様が使用許諾を受けているソフトウェアの最新バージョンおよびリリースを提供し、技術サポートではお客様からの音声および電子的なアクセスによるお問い合わせに対して各国の IBM サポート・センターが対応いたします。

取得された各プログラム・ライセンスには、1 年間のソフトウェア・サブスクリプション&サポートが含まれています。ソフトウェア・サブスクリプション&サポートの初期期間は、更新オプション（利用可能な場合）を購入することによって延長できます。

ソフトウェアのサブスクリプション&サポートの有効期間中は、お客様の通常の短期インストール作業や使用（使用方法）についての疑問、およびコード関連の質問などについて、IBM が支援いたします。IBM は、お近くの IBM サポート・センターの通常の営業時間（公表されている基本シフト時間）内に、お客様の情報システム (IS) 技術サポート担当者に対して、電話および（利用できる場合は）電子アクセスを通じて支援を提供いたします。（この支援は、お客様のエンド・ユーザーにはご利用いただけません。）IBM では、重大度 1 の支援は、通年 1 日 24 時間 週 7 日体制で提供します。詳細については、以下 Web サイトの「IBM ソフトウェア・サポート・ハンドブック」をご覧ください。

<http://www.ibm.com/support/handbook>

ソフトウェア・サブスクリプション&サポートには、アプリケーションの設計および開発、所定稼働環境以外の環境でのプログラムの使用、または該当契約のもとで IBM が責任を負わない製品に起因する障害に対する支援は含まれていません。

インターナショナル・パスポート・アドバンテージ 契約および IBM インターナショナル・パスポート・アドバンテージ・エクスプレス 契約の追加情報については、次の パスポート・アドバンテージ Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/software/passportadvantage>

System i® ソフトウェア・メンテナンスの適用

なし

教育機関向け割引の利用

適用外

適切なセキュリティ実施について

IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスの防止、検出、および対応によって、システムや情報を保護することが求められます。不適切なアクセスにより、情報の改ざん、破壊、悪用を招くおそれがあるほか、システムが誤用された場合は他のシステムを攻撃してしまうおそれがあります。セキュリティに対して包括的なアプローチをとらない IT システムや IT 製品は、完全にセキュアであるとみなすべきではなく、また単一の製品や単一のセキュリティ対策で極めて効果的に不正アクセスを防止できるものはありません。IBM システムおよび製品は、セキュリティに関する包括的な取り組みの一環として設計されています。これには必然的に追加の運用手順が含まれ、これを最も効果的なものとするには、他のシステム、製品、またはサービスが必要となる場合もあります。IBM では、システムおよび製品が第三者の悪質な行為、および不正な行為による影響を受けないことを保証することはできません。

IBM エレクトロニック・サービス

エレクトロニック・サービス・エージェント™ および IBM エレクトロニック・サポート Web ポータルは、迅速で、卓越したサポートを IBM システムのお客様に提供するために提供されています。IBM エレクトロニック・サービス・エージェント・ツールは、追加料金不要のツールで、システム・エラー、パフォーマンス問題、インベントリーなどのハードウェア・イベントをプロアクティブにモニターおよび報告します。エレクトロニック・サービス・エージェント・ツールは、お客様が企業の戦略的ビジネス・イニシアチブに集中し、時間を節約して、日常的な IT メンテナンス問題への対応の労力を軽減できるように支援します。このツールで使用可能になるサーバーは、追加料金なしで、IBM サポートが 24 時間リモートでモニターします。

AIX 5.3、AIX 6.1、および AIX 7.1 の基本オペレーティング・システムに新たに組み込まれたエレクトロニック・サービス・エージェントは、システム障害および使用状況の問題を IBM に電子的に自動報告するように設計されています。これにより、問題解決が迅速化され、可用性が向上します。エレクトロニック・サービス・エージェント・ツールが収集したシステム構成およびインベントリー情報は、セキュアなエレクトロニック・サポート Web ポータルでも表示できます。これらの情報は、お客様と IBM サポート・チームが問題の判別および解決を改善する目的で使用されます。ツールのメインメニューにアクセスするには、「smitty esa_main」と入力してから、「Electronic Service Agent の構成」を選択します。また ESA には、強力な Web ユーザー・インターフェースが新たに組み込まれ、管理者が状況、ツール設定、問題情報、およびフィルターに簡単にアクセスできるようになりました。エレクトロニック・サービス・エージェントの構成方法と使用方法に関する詳細情報および資料は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.ibm.com/support/electronic>

IBM エレクトロニック・サポート・ポータルは、IBM のインターネット・サービスおよびサポートにアクセスするのに従来使用されていた複数のエントリー・ポイントに代わる、単一のインターネット・エントリー・ポイントになります。このポータルでは、技術的な問題の解決を支援するための IBM リソースに簡単にアクセスできます。My システム機能およびプレミアム検索機能により、エレクトロニック・サービス・エージェント・ツール対応のお客様は、より簡単にシステム・インベントリーの追跡、および関連修正の検索が行えます。

メリット

アップタイムの増大: エレクトロニック・サービス・エージェント・ツールは、ハードウェア・エラー・レポートをより迅速に提供し、システム情報を IBM サポートにアップロードすることで、保証またはメンテナンス契約を強化できるように設計されています。これにより、「症状」をモニターし、エラーを診断して、IBM サポートに手動で電話して問題記録をオープンするという無駄な時間を短縮できます。1 日 24 時間 週 7 日のモニター機能および報告機能により、深夜にエラーが発生した場合でも、人の介入や時間外のお客様担当者に頼る必要がなくなります。

セキュリティ

エレクトロニック・サービス・エージェント・ツールは、IBM でのデータのモニター、報告、および保管をセキュアに行えるように設計されています。エレクトロニック・サービス・エージェント・ツールは、インターネット (HTTPS または VPN) またはモデムのいずれかを介してセキュアに送信します。また、お客様のサイトからの出口を一元化するゲートウェイを通じてセキュアに通信するように構成できます。通信は片方向です。エレクトロニック・サービス・エージェント を起動しても、IBM がお客様のシステムに侵入できるようなりません。システム・インベントリ情報は、IBM のファイアウォールで保護されているセキュアなデータベースで保管されます。お客様および IBM 以外はこれを表示できません。お客様のビジネス・アプリケーションやビジネス・データが IBM に送信されることは絶対にありません。

より正確な報告

サービス・リクエストと並行して、システム情報およびエラー・ログが IBM サポートに自動的にアップロードされるため、お客様がシステム情報を採し出して送信する必要はありません。これにより、エラーの誤報告や誤診断のリスクが軽減されます。いったん IBM に送信された問題エラー・データは、データ知識管理システムを通り、その問題の記録に知識アーティクルが追加されます。

カスタマイズ・サポート

お客様は、起動中に入力された IBM ID を使用して、以下の URL にあるエレクトロニック・サポート Web サイトの「My システム」セクションおよび「プレミアム検索」セクションでシステム情報およびサポート情報を表示できます。

<http://www.ibm.com/support/electronic>

My システムは、エレクトロニック・サービス・エージェント がシステムから収集した情報を使用して、導入済みのハードウェアおよびソフトウェアの価値あるレポートを提供します。レポートは、お客様の IBM ID に関連付けられているすべてのシステムについて提供されます。プレミアム検索は、検索機能と、エレクトロニック・サービス・エージェント の情報の価値を結合し、技術サポート知識ベースの拡張検索機能を提供します。プレミアム検索、およびシステムから収集された エレクトロニック・サービス・エージェント の情報を活用することで、お客様のシステムのみ該当する検索結果を表示できます。

IBM エレクトロニック・サービスの能力の活用方法に関する詳細は、IBM システム・サービス担当者にお問い合わせいただくか、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.ibm.com/support/electronic>

料金

パスポート・アドバンテージ

パスポート・アドバンテージに関する情報および料金については、IBM 担当員または Software Value Plus について認定された IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせください。追加情報は以下のサイトでも参照できます。

<http://www.ibm.com/software/passportadvantage>

ビジネス・パートナー様向けの情報

IBM ビジネス・パートナー (IBM から製品を入手するワークステーション・ソフトウェアのディストリビューター) の場合は、販売店のためのパスポート・アドバンテージ・オンライン

ンにリンクして、ビジネス・パートナー向けの料金設定情報を取得できます。 IBM ID とパスワードが必要です。

IBM ビジネス・パートナー（IBM から製品を入手するワークステーション・ソフトウェアのディストリビューター）の場合は、Web Ordering System (WOS) または Partner Sales Support Center (PSSC) にリンクすることができます。 IBM ID とパスワードが必要です。

WOS

https://www-607.ibm.com/software/partners/jp/order/wos_i/top/boot.wss

PSSC

https://www-304.ibm.com/partnerworld/mem/pat/pat_sol_ssc_jp.html

AP ディストリビューション

Country/Region	Announced
AP IOT	
ASEAN*	Yes
India/South Asia**	Yes
Australia	Yes
People's Republic of China	Yes
Hong Kong S. A. R. of the PRC	Yes
Macao S. A. R. of the PRC	Yes
Taiwan	Yes
South Korea	Yes
New Zealand	Yes
Japan IOT	
Japan	Yes

* Brunei Darussalam, Indonesia, Cambodia, Lao People's Democratic Republic, Malaysia, Philippines, Singapore, Thailand, and Vietnam

** Bangladesh, Bhutan, India, Sri Lanka, Maldives, Nepal, and Afghanistan

商標

IMS、Rational Team Concert、Power Systems、Power Systems Software、Jazz、POWER8 および Electronic Service Agent は、世界の多くの国における International Business Machines Corporation の商標です。

Rational、WebSphere、System z、DB2、CICS、IBM、AIX、Passport Advantage、z/OS、DataPower、Power、zEnterprise、Worklight、VisualAge、Express、PureApplication、RequisitePro、ClearCase、CICS Explorer、Informix、BladeCenter および System i は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows および Microsoft は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

ご利用条件

お客様の国で発表されて入手可能な IBM 製品およびサービスは、その時点で有効で適用可能な標準契約、条項、条件、および料金に基づいて発注できます。 IBM は、この発表をいつでも予告なしに変更または撤回する権利を保留します。この発表はお客様の参照用としてのみ提供されています。追加のご利用条件については、次の Web サイトでご確認ください。

<http://www.ibm.com/legal/jp/ja/>

この製品発表レターは、IBM Corporation が発表した時点での製品発表レターの抄訳です。

IBM 製品に関する最新情報については、IBM 担当員または販売店にお問い合わせいただくか、IBM Worldwide Contacts ページをご覧ください。

<http://www.ibm.com/planetwide/jp/>